

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時～

◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2009・9



まちのり



ひよどり電車文庫 代表

やすだ せいこ
安田 誠子さん

○ひよどり電車文庫

所在地や開館日などの詳細は西区版4ページを
ご覧ください。



■イトーヨーカドー琴似店で開催したクリスマスコンサート
で読み聞かせをする安田さん (写真右)

「ひよどりママ」の愛称で親しまれる安田さん。我が子だけではなく、地域の子どもたちにも本の楽しさを伝えたいと、昭和五十七年、西野の自宅の隣に路面電車を利用した私設図書館「ひよどり電車文庫」を開きました。

活動を長く続けられる理由を聞くと「臨機応変に、そんなに気負わずにやってきたからかしら」とほほ笑む安田さん。もちろん、家族をはじめとした周囲の助けもあってこそ、と話します。子どもたちの図書カードを入れる木箱や図書館入り口の階段などは地域の方のお手製。車内に敷い

子どもたちはこんなにも目を輝かせる

た畳も近くのお店の方が好意で張り替えてくれたそうです。安田さんは西野小学校でも読み聞かせをしています。ひよどり電車文庫へ通う子どもも大勢いて、ほぼ全校児童と顔見知りだとか。「熱心に聞いてくれるし、質問もいっぱい」と子どもたちの反応がとてもうれしいそうです。

元気に活動が続けている安田さんですが、数年前に体調を崩し、二年間ほど大変つらい時期があったと言います。そんなある日、具合の悪そうな安田さんの様子を見た中学生の男の子から「ひよどりママは僕から見たら若くないよ。いつも元気だと思わないほうがいいよ」と言われたそう。安田さんは「きつと心配してくれただんですね。無理はできない年齢だと気が付き、肩の力が抜けて休むときには休もうと思えるようになりました」と笑顔で話します。

読み聞かせ以外にも、地域のイベントでコンサートを主催したり、保育園を開いたり新しいことにチャレンジしている安田さんは、これからは多くの子どもたちに本の楽しさ・素晴らしさを伝えていきたいと考えています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係(上欄)へ。